

遺言書

遺言者 劉備玄德 は、この遺言書で 諸葛亮孔明 に次のとおり遺言する。

一、 子 劉禅 が、人の上に立つ器ならばその補佐を

その器量がないと思わば、汝が皇帝となり

魏 吳 に対抗し、地に平和をとりもどし、

人民のための国を作るよう願わん

二二三年 月 日

蜀漢 白帝城にて
劉備玄德 印

※ 引用に用いた文献

諸葛孔明と三国志

陳舜臣・手塚治虫監修 中央文庫